

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

益城町長

市町村名 (市町村コード)	益城町 (43443)	
地域名 (地域内農業集落名)	寺中・田原地区 (寺中、田原)	
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年1月23日 (第2回)	

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

当該地域は、寺中地区と田原地区で構成されており、露地野菜や施設野菜の栽培が盛んな地域である。

【共通課題】

農業者が高齢化している。

町外からの入り作があるが、農地環境の維持管理を行ってくれない。

土木関係車両の往来が多く、農道の破損や営農の妨げになっている。

イノシシ、シカ、アナグマ、ハクビシンなどによる鳥獣被害が年々多くなっている。

補助金による支援制度の活用が難しくなっており、新規就農者も含め、設備導入などが困難になっている。

【寺中】

耕作者は減少しており、かつ、後継者がいない。

耕作放棄地が存在している。畔の草切りが出来ていない農地がある。

農業用水量が少ない。

【田原】

TSMCの熊本進出関連で農道の交通量が多くなっている。

夏場の用水が不足している。

近隣に自衛隊基地があり、農薬散布用のドローン飛行が規制される領域がある。

地域での農地等維持管理活動(多面機能的支払交付金)において人手が不足し、環境保全が困難になっている。

優良農地については、町外の耕作者に借りられてしまうことが多い。

主な作物:ニンジン、ダイコンなど

(2) 地域における農業の将来の在り方

【寺中】

農業関係人口の維持・優良農地の保全につなげるため、集落部における住宅、商業施設、病院などの開発による生活利便向上について考慮しつつ、ニンジン、ダイコンなどの農産物のブランド化や生産効率化によって利益が確保され、農業者が地域に定着するような農業を目指す。

【田原】

優良農地の保全その他営農環境(農道の利用環境、鳥獣害対策)の保全に努めつつ、ニンジン、ダイコンなどの農業生産の低省力化、低コスト化によって利益が確保される農業を目指す。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	205.5 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	205.5 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

地域内の農振農用地を本計画の区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針

—

(2)農地中間管理機構の活用方針

—

(3)基盤整備事業への取組方針

【寺中】
排水路の整備、農道の整備などを検討していく。
【田原】
農業用水ポンプ及び灌水設備の再整備を検討していく。

(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針

【寺中】
担い手不足に対応するため、農業法人化、外国人の雇用、他業種の若手の新規農業参入を検討していく。(地域に参入した人に対する居住地についても考慮する。)

(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

—

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農業・減肥料	☒ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☒ ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

【寺中】
鳥獣害対策として、対策作業の外部委託を検討する。また、侵入防止柵については農家個別に行うのではなく、地域で総合的・包括的に設置することを検討していく。
農作業の効率化のため、スマート農業機械化を進めることを検討していく。
農地の最適な利用を考慮し、農地の未相続問題解決について検討していく。
【田原】
鳥獣害対策として地域のルール作りも踏まえながら、地域で総合的・包括的に侵入防止柵設置を検討していく。
箱罾については、設置場所として耕作放棄地の活用を検討していく。捕獲イノシシについては、ジビエ活用を検討していく。